

「海遊館環境学習プログラム 岸壁生物調査の仕掛け設置!!」

令和5年10月22日(日)天保山西岸壁(海遊館の裏側の岸壁)の生物調査に使用する仕掛けを海遊館スタッフの皆さんのご指導のもと、作成・設置させていただきました。

仕掛けのかごの中には、カキ殻引、タコ壺、竹ほうき、パイプ等、生物が生息しやすい環境を生徒達で考えて、入れました。引き揚げ作業は、12月初旬の予定です。どんな生物が生息するのが楽しみです。

海遊館は長年にわたり、天保山西岸壁の生物調査をされています。生息する生物の分析をし、大阪湾周辺の生物環境を研究されています。そこに、市岡高校も数年前から少しお手伝いさせていただいています。

天保山西岸壁には、私たちが想像するよりも沢山の生き物が生息しています。単なる「港」ではなく「生き物が暮らす海」です。生物が生息しやすい里海を作ることが、海遊館の事業の目標だそうです。市岡高校も、その取り組みに関わり、今後も色々な体験をさせていただきます。

